



波田まちづくり通信



波田まちづくり協議会サイト
「はたみみ.net」

スージーちゃん

スイカワくん

宮地工場跡地の土地利用 要望書を提出

2月3日(月)、波田地区町会連合会は、地元の町会長、市議会議員と連盟で、宮地エンジニアリング(株)に対し、松本工場跡地の土地利用について要望書を提出しました。

工場は、平成26年12月の完全操業停止以降更地となり、現在では雑草や雑木が繁茂したままの状態に放置され、周辺景観に悪影響を及ぼしています。新たな土地利用が計画されるまで、土地の管理を徹底するよう1年前にも要望しましたが、そのままの状態が続いていることから、再度、次の三つの事項について要望しました。

- ① 跡地利用については、地区の発展と地区住民が安全で安心して暮らしていくために、単なる土地処分だけでなく、地区の未来につながる活用を要望するもの
- ② 跡地は、地区の都市計画や道路整備の面から、地区の将来に欠かすことのできない重要な場所であることから、地区住民の安全安心と地区の発展のために、早期の土地利用を要望するもの
- ③ 新たな土地利用の計画が実施されるまで、周辺住民への防犯対策及び環境悪化が起きないように、土地の管理を徹底すること



(広大な宮地工場跡地)



(工事中の八景山大橋)

国道158号沿線 改良工事の状況を視察

2月7日(金)、国道158号改良を促進する沿線住民の会は、現在工事が進められている「松本波田道路 扇子田・新村高架橋」、「八景山(やけやま)大橋」、「狸平トンネル」と、3月から工事が開始される「新入山トンネル」の現地視察を行いました。波田地区からは、同会の副会長、理事を務める町会連合会の正副会長が参加し、各工事の進捗状況等を確認しました。

波田地区の国道158号線と梓川地区の県道大野田梓橋停車場線を結ぶ新たな橋「八景山大橋」は、令和8年3月の完成に向け昨年3月から工事に着手し、現在は上部工を取り付ける工事が行われています。両地区を結

ぶ生活道路として、利便性と安全性が高まることが期待されます。

3年生児童 民俗資料で歴史を学ぶ

2月12日(水)・14(金)、波田小学校3年生児童は、旧波田町役場庁舎2階にある民俗資料室で、地区の歴史を学ぶ課外授業を行いました。

講師は、波田地区歴史愛好会の百瀬光信さん(5区)と大月章さん(6区)が務め、展示されている昔の道具一つ一つを解説しながら、明治から昭和初期にかけての生活様式や暮らしぶりなどをわかりやすく説明されていました。電気を一切使わず手足だけで動かす道具に児童は皆目を丸くし、昔の人の仕事がいかに大変だったか、今の暮らしへの進化の道のりを学んだ一日となりました。



(はた織り機の説明を受ける児童たち)